

第 82 回

定時株主総会招集ご通知

開催日時 2026年3月26日(木曜日)

午前10時(受付開始 午前9時)

開催場所 ポートメッセなごや 第2展示館

名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番

**開催場所が前年と異なります。
お間違いないようご注意ください。**

※株主ではない代理人および同伴の方など、議決権を行使できる株主以外の方は、ご入場いただけませんのでご注意ください。(サポートが必要な方の同伴等は除きます。)

目次

ごあいさつ	1
第82回定時株主総会招集ご通知 (ご参考)	2
第3次中期経営計画を振り返って(2022年～2025年)	7
カゴメグループのミッション・ビジョン・バリューズ	9
2035ビジョンの達成に向けた取り組み ～Kagome Group Plan 2028～	11
株主総会参考書類	
第1号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く)6名選任の件	13
第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件	17
第3号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件	21
配当金のご案内／株主メモ	22

パソコン・
スマートフォン・
タブレット端末からも
ご覧いただけます。



<https://s.srdb.jp/2811/>

カゴメ株式会社

証券コード:2811

ごあいさつ

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
2026年1月1日付で代表取締役社長に就任いたしました奥谷晴信と申します。

創業127年の歴史を受け継ぎ、カゴメグループのトップとして当社を率いていく立場となり、大変身が引き締まる思いです。どうぞよろしくお願いいたします。

第82回定時株主総会を3月26日(木)に開催する運びとなりましたので、ここに「招集ご通知」をお届けいたします。

本誌面では、株主総会の議案とカゴメグループの企業活動について掲載しておりますので、ご一読いただきますようお願い申し上げます。

カゴメグループを取り巻く外部環境はめまぐるしく変化し、世界が抱える課題は深刻さを増しています。このような状況において、グループ全体が次の成長に向けて力を合わせるための「共通の軸」として、ミッション・ビジョン・バリューを新たに設定し、理念体系を再整理しました。

2026年は2035ビジョンの達成に向けたスタートの年となります。中期経営計画を着実に実行し、社会課題の解決に取り組むことで、企業価値を高めてまいります。

引き続き、株主の皆さまの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

奥谷晴信



株主の皆さまへ

証券コード2811
2026年3月4日
(電子提供措置の開始日2026年2月13日)

名古屋市中区錦三丁目14番15号

カゴメ株式会社

代表取締役社長 おくや はるのぶ
奥谷 晴信

第82回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第82回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。
なお、株主総会前の3月13日(金)に有価証券報告書を開示予定ですので、あわせてご覧ください。
敬具

記



日時

2026年3月26日(木曜日) 午前10時(受付開始 午前9時)



場所

名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番
ポートメッセなごや 第2展示館

開催場所が前年と異なりますので、末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照のうえ、お間違いのないようご注意ください。

株主総会当日の議場の模様は、動画によるライブ配信を予定しております。株主の皆さまはウェブサイトにてご覧いただけますので、詳細は同封のリーフレット、または当社IRサイトをご確認ください。*

<https://www.kagome.co.jp/company/ir/events/meeting/online/>



目的
事項

報告事項

1. 第82期(自2025年1月1日 至2025年12月31日) 事業報告、
連結計算書類ならびに計算書類の内容報告の件

2. 会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件

決議事項

第1号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く)6名選任の件

第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

第3号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

※ライブ配信のご視聴は、会社法上、株主総会への出席とは認められておりませんので、当日の決議に参加することはできません。
事前に議決権行使をお済ませください。また、質問や動議を行うことはできませんので、あらかじめご了承ください。

電子提供措置について

本株主総会の招集に際しては電子提供措置をとっており、インターネット上の下記のウェブサイト
に電子提供措置事項を掲載しております。

当社ウェブサイト

<https://www.kagome.co.jp/company/ir/events/meeting/>



東京証券取引所ウェブサイト

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

上記のウェブサイトアクセスして、当社名又は証券コードを入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択のうえ、ご覧ください。



当日ご出席されない場合は、インターネット、または同封の「議決権行使書」の郵送によって議決権を行使することができますので、お手数ながら「株主総会参考書類」をご検討いただき、5ページの「議決権行使のお願い」に従いまして議決権を行使いただきますようお願い申し上げます。

以 上

◎書面交付請求された株主様へご送付している書面には、法令及び当社定款第14条の規定に基づき、下記の事項を記載しておりません。したがって、当該書面は監査報告を作成するに際し、監査等委員会及び会計監査人が監査をした書類の一部であります。

「企業集団の現況に関する事項」「新株予約権等に関する事項」「会計監査人の状況」「会社の体制および方針」「連結持分変動計算書」「連結注記表」「株主資本等変動計算書」「個別注記表」

◎株主総会への来場にあたり、サポートが必要な方は総会当日スタッフにお声がけください。

修正が生じた場合について

電子提供措置事項に修正が生じた場合は、掲載している各ウェブサイト修正内容を掲載させていただきます。

お知らせ

株主総会の事前のご質問を「KAGOMAIL」で受け付けます。

「KAGOMAIL」に登録されている株主さまは、3月4日(水)配信の「KAGOMAIL」からご質問を登録していただけます。

※事前にいただいたご質問のうち、**多くの株主さまが高い関心を示されたと思われるものについて、株主総会当日に回答**させていただく予定です。なお、**いただいたご質問すべてに必ず回答することをお約束するものではありません**。また、回答に至らなかったご質問へ個別に対応することはいたしかねますので、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。これらのご質問につきましては、貴重なご意見として今後の参考にさせていただきます。

株主さま向けの情報をメールで配信しています。

KAGOMAIL (かごめーる)

決算情報、株主さま向けイベント、商品・キャンペーン情報などをタイムリーにお届けする株主さま専用のメールマガジンです。こちらの専用サイトからご登録ください(ご登録には株主番号が必要です)。

<https://www.kagome.co.jp/company/ir/fan/mail/>



株主総会はライブ配信します。ぜひご視聴ください。

株主総会の模様はご自宅などでもご視聴いただけるよう、インターネットによるライブ配信を行います。

配信日時

2026年3月26日(木)午前10時から

※配信ページは株主総会開始30分前(午前9時30分)頃よりアクセス可能です。

ライブ配信 視聴方法

①同封の議決権行使書裏面に記載されているログインID(15桁の英数字)、パスワード(6桁の数字)をご準備ください。

②株主総会オンラインサイトにアクセスしてください。 <https://engagement-portal.tr.mufig.jp/>

※1つのIDで1つの機器からしかアクセスできません。

議決権行使書に記載されたQRコードを読み取ってアクセスすれば、ログインIDとパスワードの入力が不要です。

同封の議決権行使書裏面(イメージ)



ログインID/パスワード QRコード

視聴方法・推奨環境の詳細は当社ホームページをご参照ください。右記QRコードからもご確認いただけます。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



総会終了後に「カゴメ健康セミナー」を配信します。

議決権行使のお願い

当社の経営にご参加いただける
株主さまの大切な権利です！

株主総会に ご出席される場合



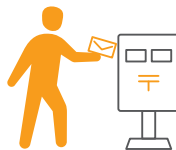
議決権行使書用紙を会場
受付にご提出ください。

本年の開催場所はポートメッセ
なごや第2展示館です。

開催日時

2026年3月26日(木)
午前10時(午前9時開場)

書面(郵送)で 議決権を 行使される場合



議決権行使書用紙に議案の
賛否をご記入の上、ご返送
ください。賛否の表示が無い
場合は、会社提案に「賛成」と
して取り扱わせていただきます。

行使期限

2026年3月25日(水)
午後5時30分到着分まで

インターネットで 議決権を 行使される場合



右の案内に従って、議案の
賛否をご入力ください。

「ネットで招集」で簡単・便利
にアクセスできます。

行使期限

2026年3月25日(水)
午後5時30分まで受付

※株主ではない代理人および同伴の方
など、議決権を行使できる株主以外
の方は、ご入場いただけませんので
ご注意ください。(サポートが必要な
方の同伴等は除きます。)
※本定時株主総会招集ご通知をご持参
くださいますようお願い申し上げま
す。
※ご出席いただいた株主さまには、お帰
りの際にお試し品(商品)を準備して
おります。

議決権行使書用紙のご記載方法のご案内

こちらに議案の賛否をご記載ください。

※議決権行使書用紙はイメージです。

第1、2号議案

- 全員賛成の場合 「賛」の欄に○印
- 全員反対する場合 「否」の欄に○印
- 一部の候補者に反対する場合 「賛」の欄に○印、反対する候補者の番号をご記入ください。

第3号議案

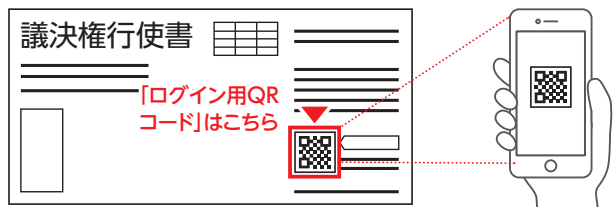
- 賛成の場合 「賛」の欄に○印
- 反対する場合 「否」の欄に○印

インターネットにより議決権を行使される場合のお手続きについて

パソコンまたはスマートフォンから当社の指定する議決権行使サイト (<https://evote.tr.mufg.jp/>) にアクセスしていただくことによってのみ実施可能です。



スマートフォンから



議決権行使書副票(右側)

同封の議決権行使書副票(右側)に記載されたログイン用QRコードを読み取ってください。

「ネットで招集」なら招集ご通知の掲載内容をコンパクトにまとめています!

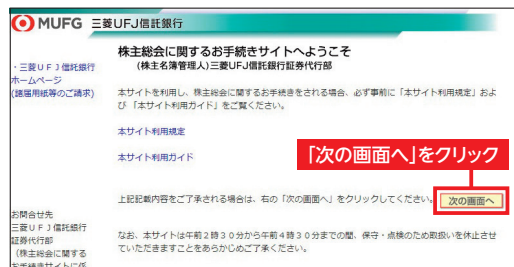
<https://s.srdb.jp/2811/>

- ▶ 招集ご通知がいつでもどこからでも閲覧可能!
- ▶ 議決権行使ウェブサイトへ簡単アクセス!
- ▶ 株主総会会場をGoogleマップで確認可能!



パソコン等から

1. 議決権行使サイトにアクセスする



2. お手元の議決権行使書用紙の右下に記載された「ログインID」および「仮パスワード」を入力



以降画面の案内に沿って賛否をご入力ください。

ご注意事項

- インターネットによる議決権行使は、株主総会前日(2026年3月25日(水))の午後5時30分まで受付いたします。
- 郵送とインターネットにより、二重に議決権行使をされた場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきます。
- インターネットにより、複数回数にわたり議決権行使をされた場合は、最終に行われた議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきます。

システム等に関するお問い合わせ (ヘルプデスク)

三菱UFJ信託銀行(株) 証券代行部

0120-173-027 (通話料無料)

受付時間：午前9時から午後9時まで

第3次中期経営計画を振り返って(2022年～2025年)

事業活動の全体像:厳しい環境下での成長加速

第3次中期経営計画は、2025年のありたい姿「食を通じて社会課題の解決に取り組む、持続的に成長できる強い企業になる」の実現に向けて進んできました。原材料価格の高騰をはじめとする外部環境の大きな変化に直面する中、機動的な価格改定や継続的な原価低減活動により収益基盤の強化を図ってきました。同時に、事業を通じた社会課題の解決に注力し、推定野菜摂取量を計測できる「ベジチェック®」の活用や、野菜の機能性に関する情報発信を通じて、野菜摂取推進活動を積極的に展開しました。さらに、2024年には米国カリフォルニア州の大手トマト加工会社である Ingomar Packing Company, LLC を連結子会社化し、グループ全体の売上収益に占める国際事業の構成比を大きく拡大させるなど、将来の成長につながる取り組みを着実に進めました。

グループ経営基盤の強化において、物流面では、環境変化に柔軟に対応できる安定供給体制の構築を進めました。人的基盤の面では、従業員が安心して意見を交わせる職場環境の整備や、多様な働き方への支援を通じて、一人ひとりの成長と挑戦を後押しする企業風土の醸成に注力しました。



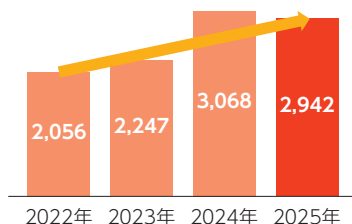
Ingomarの契約農家のトマト圃場



優れた福利厚生を実施する法人を表彰する認証制度「ハタラクエール 2025」の優良福利厚生法人(総合)を受賞

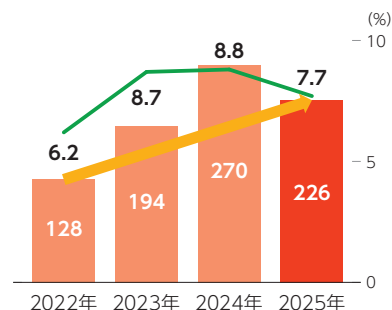
売上収益

■ 売上収益
(単位:億円)



事業利益／事業利益率

■ 事業利益
(単位:億円)
— 事業利益率
(右軸)



国内加工食品事業

基本方針を「利益の回復と挑戦の継続」と定め、収益性の改善と新領域の育成に挑戦しました。需要創造の面では、「野菜をとろうキャンペーン」などを通じて、野菜摂取の促進と当社商品の価値訴求に取り組みました。飲料事業では、「カゴメトマトジュース」の機能性訴求を強化したことによりユーザーが拡大し、2025年の同商品の売上収益は過去最高となりました。また、「野菜生活100」は2025年に発売30周年を迎え、子育て世代向けのプロモーションを実施しました。新たな成長領域として、飲料分野では「アーモンド・ブリーズ®」を発売し、植物性ミルク市場への挑戦を継続、食品分野では野菜スープカテゴリーの育成を進めています。



国際事業

基本方針を「成長の加速」と定め、競争力の強化に向けた取り組みを進めました。トマト他一次加工では、Ingomarにおいて加工用トマト栽培の課題解決に向け、契約農家と連携した栽培技術の検証や、生産工程での品質改善・自動化を進めています。トマト他二次加工では、カゴメグループの連携を強化し、グローバルフードサービス企業向け商品の販売に注力しました。2026年1月には英国 Silbury Marketing Ltd の株式を取得し、欧州のフードサービス企業に向けたソリューション提案力の強化に取り組めます。



Ingomarの工場

活動ハイライト

農業分野における中長期的なイノベーション創出に向け、技術探索および事業開発を加速するため、2024年にコーポレートベンチャーキャピタルを設立しました。2025年12月時点で4社への出資を決定しています。

2025年9月には、植物性原料由来の高吸水ポリマーを開発・販売するEF Polymer 株式会社に出資し、米国カリフォルニア州の加工用トマト圃場において実証試験を実施しました。今後は、水使用量の削減や収量・品質の安定化に向けた導入を進める予定です。



カゴメグループのミッション・ビジョン・バリューズ

社会の変化が急速に進み、技術の進化がさらに加速する環境において、カゴメグループが長期的な視点を持って経営を行うため、企業理念や行動規範、ブランドステートメントなど、すべてを含めて体系的に考え直し、新たにミッション・ビジョン・バリューズを設計しました。グループが一貫して進む方向性を明確にすることで、持続的成長と企業価値向上を実現します。

カゴメグループの理念体系

Brand Message 社会やお客様への約束	自然を、おいしく、楽しく。		
Mission 私たちの使命	カゴメグループは、 人が自然を、自然が人を豊かにする循環を生み出し続けます		
2035 Vision 2035年に カゴメグループが目指す姿	～ Cultivating Nature's Potential ~ 農から食にわたる技術革新をリードし、自然の可能性を共に拓く会社へ (ビジョン実現をドライブする2つの構想) 農と食のウェルビーイング事業の展開 環境負荷の低いトマトビジネスの開拓		
2035 Values 2035ビジョンを 実現するための価値観	Explore / 探究しよう 農や食への好奇心で 知識を拡げ、深掘ろう	Advance / 先進しよう 新たな兆しを大切にし 次のあたりまえをつくろう	Cooperate / 協創しよう 多様な考えに興味を持ち 仲間と協創を楽しもう
企業理念 すべての社員の考えや行動のよりどころとなるもの	感謝	自然	開かれた企業

カゴメグループのミッション・ビジョン・バリューズの詳細はこちらをご覧ください。
<https://www.kagome.co.jp/company/mvv/>



ミッション:私たちの使命

農業を原点とする当社は、1899年の創業以来、自然の恵みである野菜や果物のおいさと栄養を、お客さまにとって価値ある形に変え、食卓へ届けてきました。これを実現するため、自然との共生を大切にしながら、おいしさや環境に配慮した品種や栽培技術の研究、素材の持ち味を最大限に活かす加工技術の開発、お客さまとの信頼を築くマーケティングなどに取り組んできました。しかし、近年では気候変動などの環境変化が自然の恵みを育む農の営みに深刻な影響をもたらしています。この課題に対応するため、「人から自然へ」の豊かさを育む働きかけを広げながら、「自然から人へ」の恵みを一層大切にして、双方をつなぐ循環の輪をより太く、大きくしていきます。



2035ビジョン:2035年にカゴメグループが目指す姿

気候変動などの環境変化により、持続可能な農の営みを守り、食の基盤を維持することがますます困難になっています。一方で、生活者のニーズは、心身の健康に加え、人や地域との社会的なつながりも重視されるようになり、ウェルビーイングの重要性が一層高まっています。

自然との共生を大切にしながら、私たちは農から食にわたる革新的な技術で、畑など農地を中心とした自然の豊かさを育んでいきます。そこから生まれる恵みの価値を最大限に引き出し、人々に届け、持続可能な未来を創り続けます。



2035バリューズ:2035ビジョンを実現するための価値観

「2035バリューズ」は、「2035ビジョン」を実現するために、従業員一人ひとりが大切にする価値観です。このバリューズは、従業員だけではなく、社外のステークホルダーへの呼びかけでもあります。ビジョンの達成には、カゴメが積み重ねてきた知見や技術に加え、新しい発想や技術を持つパートナー、そして同じ志を分かち合うステークホルダーとの連携が欠かせません。私たちは共に、新しい価値を生み出し、未来をより豊かにしていきたいと考えています。

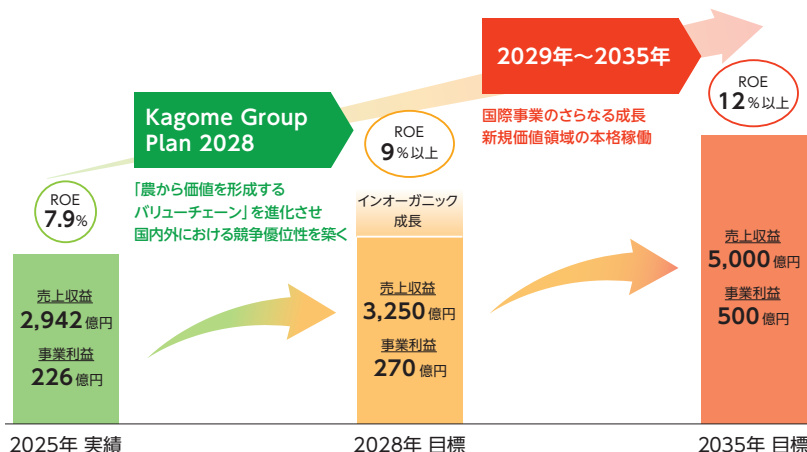


2035ビジョンの達成に向けた取り組み

～Kagome Group Plan 2028～

2035ビジョン達成に向けて

2035年の新たな目標は売上収益5,000億円、事業利益500億円、ROE12%以上です。この目標に向けた最初のステップとなる中期経営計画「Kagome Group Plan 2028」においては、収益基盤の強化と、成長・新規価値領域への資源投下による競争力の強化に取り組み、オーガニック・インオーガニック両面での成長を実現します。



2026-2028中期経営計画～Kagome Group Plan 2028～

テーマ

「農から価値を形成するバリューチェーン」を進化させ国内外における競争優位性を築く
～独自の強み「農・技術・グローバルネットワーク」の相乗効果の最大化～

基本戦略：収益獲得力の向上と、成長・新規価値領域への資源投下による競争力強化

1. 独自の強みの最大化による、収益獲得力の向上と、国際事業の二次加工を中核とした成長の加速
2. 未来の柱をつくる、新規価値領域の創造
3. 成長投資と株主還元の最適化による資本効率の向上
4. 価値創造の原動力となる経営基盤(人材・研究開発・DX・サステナビリティ)の進化

連結定量目標(2026年)

売上収益	3,100 億円
事業利益	230 億円
事業利益率	7.4 %

国内加工食品事業

「野菜と健康の価値提供」を通じて、持続的な成長と収益獲得力の強化を図ります。コスト上昇が続く環境下において、原価低減とコスト構造の最適化を進めるとともに、機動的な価格戦略と需要創造活動に注力します。さらに、国産野菜・果実の産地と生活者をつなぐ商品開発や、野菜の機能に関する情報発信などにより、生活者との新たな接点を創出し、当社ならではの価値を提供します。



栃木県で苗の生育状況を調査する様子

国際事業

保有するトマト一次加工の資源を最大限に活用し、市場拡大が見込まれるフードサービス企業向けの販売拡大を強化します。併せて、各エリアに展開するグループ会社の研究開発、マーケティング、販売部門との連携を一層強化し、顧客ニーズに迅速に対応するソリューション提案力を高めます。これにより、競争力を強化し、着実な成長を牽引します。



グローバルR&Dミーティングの様子

新規価値領域

農と食のウェルビーイング事業の展開

身体的な健康だけでなく、精神的・社会的な健全さを含む、より健やかな暮らしを自然の力を活かして実現するウェルビーイング事業の開発に取り組めます。Kagome Group Plan 2028では、オフィスや地域などとの接点の拡大、新たなサービスの開発、生活者研究の深化などに取り組めます。

環境負荷の低いトマトビジネスの開拓

気候変動に適応した農産物品種の開発に加え、水資源を大切に扱う栽培技術の開発やCO₂排出量削減に向けた取り組みをよりいっそう推進します。Kagome Group Plan 2028では、栽培・加工・輸送などの生産要素別の温室効果ガスの算定方法の確立や、環境負荷の低いトマト加工品の販売の拡大を図ります。

第1号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く)6名選任の件

取締役(監査等委員である取締役を除く。以下本議案において同じ。)6名全員は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、社外取締役2名を含む取締役6名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名	会社における地位	取締役会への出席状況
1	山口 聡 やまぐち さとし 再任	取締役会長	100% (14回中14回出席)
2	奥谷 晴信 おくや はるのぶ 再任	代表取締役社長	100% (14回中14回出席)
3	葉色 義久 はいろ よしひさ 再任	取締役常務執行役員	100% (14回中14回出席)
4	佐伯 健 さえき たけし 再任	取締役常務執行役員	100% (10回中10回出席)
5	荒金 久美 あらかね くみ 再任 社外	社外取締役	100% (14回中14回出席)
6	桑川 滋 くめかわ しげる 再任 社外	社外取締役	100% (10回中10回出席)

候補者番号 1

山口 聡 やまぐち さとし

●生年月日 1960年12月29日

再任



●所有する当社株式の数
25,300株

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1983年 4月	当社入社	2018年10月	当社野菜事業本部長
2003年 4月	当社業務用ビジネス・ユニット部長	2019年 3月	当社取締役常務執行役員
2010年 4月	当社執行役員	2020年 1月	当社代表取締役社長
2010年 4月	当社業務用事業本部長	2026年 1月	当社取締役会長(現任)
2015年10月	当社イノベーション本部長		

取締役候補者の選任理由

山口聡氏は、過去6年間にわたり代表取締役社長として当社グループの経営を担い、事業を牽引するとともに、新たなビジョンと中期経営計画の策定を主導してきました。現在は取締役会長として取締役会の議長を務め、コーポレートガバナンスの一層の強化に取り組んでいます。これらの実績に加え、業務用事業部門や研究部門で培った豊富な経験を踏まえ、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を実現するため、引き続き取締役として選任をお願いするものです。

候補者番号

2

おくや はるのぶ
奥谷 晴信

●生年月日 1968年3月17日

再任



●所有する当社株式の数
3,500株

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1990年 4月	当社入社	2022年 4月	当社執行役員
2013年11月	当社アジア事業カンパニー 企画調整室長	2024年 3月	当社取締役執行役員
2014年 3月	当社アジア事業カンパニー CFO 兼 企画調整室長	2024年 4月	当社コーポレート企画本部長 兼 経営企画室長
2015年10月	当社グローバルコンシューマー 事業部企画調整室長	2025年 3月	当社取締役常務執行役員
2016年 4月	当社国際事業本部企画管理室長	2025年10月	当社コーポレート企画本部長
2021年11月	当社経営企画室長 兼 米国成長 戦略プロジェクト室長	2026年 1月	当社代表取締役社長(現任)

取締役候補者の選任理由

奥谷晴信氏は、原料、調達実務を起点として、事業開発、海外他社や海外子会社への出向を経て、国際事業における中核として長く活躍してきたほか、コーポレート部門を率い経営基盤の強化と経営資源の最適化を進め、カゴメグループの成長を牽引してきました。代表取締役社長として新たなビジョンと中期経営計画を推進し、カゴメの持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現のため適切な人材として、引き続き取締役としての選任をお願いするものです。

候補者番号

3

はいろ よしひさ
葉色 義久

●生年月日 1967年10月6日

再任



●所有する当社株式の数
4,100株

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1990年 4月	当社入社	2020年10月	当社生産調達本部長(現任)
2013年 4月	Kagome Australia Pty Ltd.取締役	2021年 4月	当社執行役員
2016年 4月	当社国際事業本部グローバル 品質保証部長	2024年 3月	当社取締役執行役員
2019年 4月	当社生産調達本部調達部長	2025年 3月	当社取締役常務執行役員(現任)

取締役候補者の選任理由

葉色義久氏は、品質管理、調達実務を起点として、海外子会社へ出向し買収後の子会社統合・経営にも携わり、工場経営や国際調達、品質保証に熟達しております。とくに緻密さと戦略性に長け、現在は取締役常務執行役員生産調達本部長として生産調達体制の変革を牽引しており、カゴメの持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現のため適切な人材として、引き続き取締役としての選任をお願いするものです。

候補者番号

4

さ え き
佐伯

たけし
健

●生年月日 1962年12月1日

再任



- 所有する当社株式の数
3,600株

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1986年 4月	京セラ(株)入社	2021年11月	当社CFO 兼 CRO 兼 リスクマネジメント 統括委員会事務局長
1991年 5月	YASHICA Kyocera GmbH (ドイツ) 出向	2023年10月	当社常務執行役員
2003年 1月	当社入社	2024年 3月	当社財務経理部長(現任)
2013年 4月	当社トマト事業カンパニーCFO	2025年 3月	当社取締役常務執行役員(現任)
2017年10月	当社財務経理部長	2025年 4月	当社CFO 兼 CRO(現任)
2020年 4月	当社執行役員		

取締役候補者の選任理由

佐伯健氏は、取締役常務執行役員最高財務責任者(CFO)及び最高リスクマネジメント責任者(CRO)として当社グループ経営を担っております。また、財務経理部門を統括するとともに、財務戦略の立案、連結子会社におけるグループガバナンスの強化などを推進しております。これらの実績と過去の国際事業や経営企画部門における豊富な経験を踏まえ、カゴメの持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現のために適切な人材として、引き続き取締役としての選任をお願いするものです。

候補者番号

5

あらかね
荒金

く み
久美

●生年月日 1956年7月4日

再任

社外



- 所有する当社株式の数
900株
- 社外取締役在任期間
6年

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1981年 4月	(株)小林コーセイ (現(株)コーセイ)入社	2011年 3月	同社執行役員品質保証部長
1997年 7月	東京大学 博士号(薬学)取得	2011年 6月	同社取締役 (品質保証部・お客様相談室・ 購買部・商品デザイン部担当)
2002年 3月	(株)コーセイ研究本部開発研究所 主幹研究員	2017年 6月	同社常勤監査役
2004年 3月	同社マーケティング本部 商品開発部長	2019年 3月	(株)クボタ社外監査役
2006年 3月	同社執行役員マーケティング本部 副本部長 兼 商品開発部長	2020年 3月	当社社外取締役(現任)
2010年 3月	同社執行役員研究所長	2020年 6月	戸田建設(株)社外取締役(現任)
		2021年 3月	(株)クボタ社外取締役(現任)

社外取締役候補者の選任理由および期待される役割

荒金久美氏は、(株)コーセイにおいて、薬学博士として研究開発、商品開発、品質保証の責任者や取締役として経営の執行・監督に携わるなど、企業経営に関する豊富な経験と見識を有しており、社外取締役としてイノベーションを通じた成長の実現を目指す当社の経営に適切な助言や監督をいただいております。これらのことから、引き続きこれらの役割を期待し、社外取締役として選任をお願いするものです。

候補者番号

6

くめかわ
条川しげる
滋

●生年月日 1963年8月18日

再任

社外



- 所有する当社株式の数
200株
- 社外取締役在任期間
1年

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1986年 4月	ソニー(株)入社	2018年 4月	ソニー(株)執行役員
2006年 4月	ソニーマーケティング(株) テレビ&ビデオMK部統括部長	2019年 4月	ソニーマーケティング(株) 代表取締役社長
2010年 4月	同社執行役員量販営業本部長	2022年 4月	ソニー(株) Deputy Global Sales & Marketing Officer (兼務)
2012年 4月	同社執行役員マーケティング本部長	2024年 4月	ソニーマーケティング(株) 代表取締役会長
2014年 9月	CJSC Sony Electronics (Moscow) Chairman & President	2025年 3月	当社社外取締役(現任)
2016年 4月	Sony Europe Limited President		

社外取締役候補者の選任理由および期待される役割

条川滋氏は、ソニー(株)において、欧州・中東などのソニー製品の海外販売事業責任者としての経験とともに、国内を担当するソニーマーケティング(株)の代表取締役会長・社長として経営に携わるなど、国際事業や営業・マーケティングの領域を中心とした企業経営に関する豊富な知見を有しております。これらのことから、グローバル化の推進による中長期的な成長を目指す当社の経営に適切な助言や監督をいただいております。これらのことから、引き続きこれらの役割を期待し、社外取締役として選任をお願いするものです。

- (注) 1. 各候補者と会社との間に、特別の利害関係はありません。
2. 荒金久美氏および条川滋氏は、社外取締役候補者であります。
3. 荒金久美氏および条川滋氏は、当社の社外取締役の独立性判断基準を満たしており、(株)東京証券取引所が一般株主保護のために確保することを義務付けている独立役員として届け出ております。当社の社外取締役の独立性判断基準は当社ウェブサイト(<https://www.kagome.co.jp/company/ir/esg/governance/>)に掲載しておりますのでご参照ください。
4. 当社は、定款の規定に基づき、荒金久美氏および条川滋氏との間で社外取締役就任時に、会社法第423条第1項の責任について、法令が規定する額を限度とする契約を締結しており、両氏の再任が承認された場合、当社は両氏との間の上記責任限定契約を継続する予定であります。
5. 当社は、取締役全員を被保険者とする役員等賠償責任保険契約を締結しており、被保険者である取締役がその職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及にかかる請求を受けることによって生ずることのある損害が補填されます。なお、各候補者が取締役に就任した場合は、当該保険契約の被保険者となり、任期途中に当該保険契約について同内容での更新を予定しております。
6. 荒金久美氏の戸籍上の氏名は、亀山久美であります。

第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

監査等委員である取締役3名全員は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、社外取締役2名を含む監査等委員である取締役3名の選任をお願いするものであります。なお、本議案につきましては監査等委員会の同意を得ております。

監査等委員である取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号

1

たかの
高野

ひとし
仁

●生年月日 1964年6月5日

再任



●所有する当社株式の数
14,400株

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1988年 4月	当社入社	2010年 4月	当社アジア事業カンパニー事業統括部長
2004年 4月	当社野菜飲料ビジネス・ユニットディレクター	2014年10月	当社通販事業本部長
2007年 4月	当社飲料ビジネス・ユニットディレクター	2016年 4月	当社名古屋支店長
2008年 6月	当社執行役員	2017年10月	当社経営企画本部長
2009年 4月	当社コンシューマー事業本部商品企画部長	2018年10月	当社SCM本部長
		2023年10月	当社社長付特命担当
		2024年 3月	当社取締役監査等委員(現任)

取締役会への出席状況 100%(14回中14回出席)

監査等委員会への出席状況 100%(13回中13回出席)

取締役候補者の選任理由

高野仁氏は、取締役常勤監査等委員として、当社の経営を担っており、執行の意思決定に参画するとともに、他の監査等委員や内部監査部門と連携して、経営の監査および監督を行うなどしております。これらの実績と過去に営業、商品企画、アジア事業、経営企画、SCMなど、当社の広範なバリューチェーン領域での豊富な経験を有していることを踏まえ、監査等委員として当社の業務執行を適切に監督するのに適切な人材として、引き続き取締役監査等委員として選任をお願いするものです。

候補者番号

2

やまがみ

山神

あさこ

麻子

●生年月日 1970年1月1日

再任

社外



- 所有する当社株式の数
一株
- 監査等委員である社外取締役の在任期間
6年

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1999年 4月	弁護士登録、太陽法律事務所 (現ポールヘイスティングス 法律事務所)入所	2015年 6月	武蔵精密工業(株) 社外取締役監査等委員
2005年10月	ウォルト・ディズニー・ジャパン(株) に出向	2016年 1月	日本弁護士連合会国際室長
2006年 5月	日本アイ・ビー・エム(株)に入社	2020年 3月	当社社外取締役監査等委員(現任)
2012年 7月	名取法律事務所(現名取・大木 法律事務所)入所(パートナー) (現任)	2020年 6月	(株)ニコン社外取締役 (監査等委員)(現任)
		2021年 6月	NECキャピタルソリューション (株)社外取締役(現任)
		2023年 5月	日本弁護士連合会男女共同参 画推進本部 女性社外役員プロ ジェクトチーム座長

取締役会への出席状況 100%(14回中14回出席)

監査等委員会への出席状況 100%(13回中13回出席)

社外取締役候補者の選任理由および期待される役割

山神麻子氏は、弁護士として、米国、中国をはじめ国際的に活躍されてきたほか、企業内弁護士としての経験を有するなど、企業法務に精通し、企業経営を統括する十分な見識を有しており、社外取締役監査等委員として、当社の経営を監査いただき、また、当社に対する適切な助言や監督をいただいております。同氏は、社外取締役になること以外の方法で会社経営に関与したことはありませんが、これらのことから、引き続きこれらの役割を期待し、社外取締役監査等委員としての選任をお願いするものであります。

候補者番号

3

うめつじ

梅辻

まさる

雅春

●生年月日 1957年10月1日

新任

社外



- 所有する当社株式の数
一株

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1984年10月	アーサーアンダーセン会計事務所入所	2002年 7月	朝日KPMG税理士法人 (現KPMG税理士法人)パートナー
1989年 4月	公認会計士登録		
1993年 2月	税理士登録	2020年12月	梅辻税務会計事務所代表(現任)
1998年 9月	同事務所パートナー		

取締役会への出席状況 —

監査等委員会への出席状況 —

社外取締役候補者の選任理由および期待される役割

梅辻雅春氏は、公認会計士・税理士として、国内外の多数の企業の会計監査、税務戦略策定、企業再編その他の経営課題への取組みに参画するなど、企業会計・税務に精通し、企業経営を統括するに十分な見識を有しております。同氏は、社外取締役になること以外の方法で会社経営に関与したことはありませんが、これらのことから、社外取締役監査等委員としての選任をお願いするものであります。

- (注) 1. 各候補者と会社の間に、特別の利害関係はありません。
2. 山神麻子氏および梅辻雅春氏は、社外取締役候補者であります。
3. 山神麻子氏および梅辻雅春氏は、(株)東京証券取引所が一般株主保護のため確保することを義務付けている独立役員の要件を満たしており、独立役員として届け出ている、または、届け出る予定です。なお、当社の社外取締役の独立性判断基準は、当社ウェブサイト(<https://www.kagome.co.jp/company/ir/esg/governance/>)に掲載しておりますのでご参照ください。
4. 当社は、定款の規定に基づき、山神麻子氏との間で社外取締役監査等委員就任時に、会社法第423条第1項の責任について、法令が規定する額を限度とする契約を締結しており、同氏の再任が承認された場合、当社は同氏との間の上記責任限定契約を継続する予定であります。また、梅辻雅春氏の選任が承認された場合、当社は、同氏との間で上記同様の責任限定契約を締結する予定であります。
5. 当社は、取締役全員を被保険者とする役員等賠償責任保険契約を締結しており、被保険者である取締役がその職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及にかかる請求を受けることによって生ずることのある損害が補填されます。なお、各候補者が取締役役に就任した場合は、当該保険契約の被保険者となり、任期中に当該保険契約について同内容での更新を予定しております。

当社は、取締役会のアドバイス機能とモニタリング機能を最大限発揮することで中長期的な企業価値向上を実現させるために、取締役会の構成においては、知識・能力・経験といった面で多様性とバランスを確保しつつ、質の高い審議を行える規模としています。そのために、取締役に必要なスキルとして「企業経営を推進する上での経営スキル」と「カゴメの事業・中期経営計画を推進し、業績向上につなげるための機能スキル」の計11のスキルを設定しました。スキル保有の認定条件(※)に照らし、各取締役の知識・能力・経験等を踏まえ、保有するスキルを明確にしております。

スキルの分類・項目・定義

分類/項目	定義
企業経営を推進する上での経営スキル	
企業経営	企業経営を行うにあたっての経営管理、ビジョン・戦略構想、リーダーシップにかかる基幹的なスキル
財務・会計	経営資源を適切に管理・運用するとともに、資本市場との良好な信頼関係を構築する
法務・リスクマネジメント	外的環境や事業上発生しうる多様なリスクを的確に把握・評価・対応し、公正かつ適切な経営を行う
人材開発・ダイバーシティ	人的資本を適切に確保・育成し、多様な考えや経験を活かして新しい企業価値の創出につなげていく
サステナビリティ経営	「感謝・自然・開かれた企業」の理念を原点とし、環境や社会の持続可能性に配慮した経営を通じて、企業価値を向上させる
カゴメの事業・中期経営計画を推進し、業績向上につなげるための機能スキル	
農業・食・栄養	農業農政、食と栄養に対する知識見識に立脚し、課題形成を行う
研究・技術	企業の事業シードを生み出す研究開発・技術開発戦略を推進する
マーケティング・ブランドマネジメント	ブランド価値の管理と効果的なマーケティング戦略を推進する
生産・調達・品質	安定的な原材料の調達と品質第一を担保した商品の製造を的確に推進する
営業・SCM	効率的なサプライチェーンと顧客接点を創造する営業戦略を推進する
グローバル・ビジネス	グローバル環境において経営資源を有効に活用した事業戦略を推進する

※スキル保有の認定基準

- ①企業の社内取締役としての経営経験などを保有すること
- ②当該の専門機能を執行する本部長、または準ずる立場などでのマネジメント経験を保有すること
- ③企業経営の観点から当該の知見や専門知識を活かし、経営に直結した貢献などの経験を有すること

取締役のスキルマトリックス(議案が承認された場合)

氏名	属性	企業経営を推進する上での経営スキル					カゴメの事業・中期経営計画を推進し、業績向上につなげるための機能スキル					
		企業経営	財務・会計	法務・リスクマネジメント	人材開発・ダイバーシティ	サステナビリティ経営	農業・食・栄養	研究・技術	マーケティング・ブランドマネジメント	生産・調達・品質	営業・SCM	グローバル・ビジネス
山口 聡 取締役会長		○		○	○	○	○	○			○	
奥谷 晴信 代表取締役社長		○		○	○	○				○		○
葉色 義久 取締役 常務執行役員		○			○		○			○		○
佐伯 健 取締役 常務執行役員		○	○	○								○
荒金 久美 社外取締役	社外 独立	○		○		○		○	○	○		
条川 滋 社外取締役	社外 独立	○							○		○	○
高野 仁 取締役 (監査等委員)		○		○					○		○	○
山神 麻子 社外取締役 (監査等委員)	社外 独立			○	○							○
梅辻 雅春 社外取締役 (監査等委員)	社外 独立		○	○								○

第3号議案

補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

監査等委員である取締役が法令で定める員数の要件を欠くときに備え、補欠の監査等委員である取締役の選任をお願いするものであります。本議案による選任の効力は、定款の規定により本決議後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会開始の時までであります。なお、本議案に関しましては、監査等委員会の同意を得ております。

補欠の監査等委員である取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者

えんどう
遠藤

たつや
達也

●生年月日 1959年8月18日

社外



略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1985年 4月	アーサーアンダーセン 東京事務所入所	2002年 7月	朝日KPMG税理士法人 (現KPMG税理士法人)パートナー
1990年 4月	税理士登録	2016年 1月	同法人副代表
1998年 9月	同事務所パートナー	2020年 1月	遠藤達也税理士事務所代表(現任)
		2020年 3月	当社社外取締役監査等委員(現任)

社外取締役候補者の選任理由および期待される役割

遠藤達也氏は、税理士として、国内外において多数の上場企業の会計監査やM&A案件に参画するなど、企業会計・税務に精通し、企業経営を統括する十分な見識を有しており、2020年より社外取締役監査等委員として、当社の経営を監査いただき、当社に対する適切な助言や監督をいただいております。同氏は、社外取締役になること以外の方法で会社経営に関与したことはありませんが、これらのことから、これらの役割を期待し、補欠の社外取締役監査等委員としての選任をお願いするものであります。

- 所有する当社株式の数
800株
- 監査等委員である社外取締役の在任期間
6年

- (注) 1. 遠藤達也氏と会社との間に、特別の利害関係はありません。
2. 遠藤達也氏は、補欠の社外取締役候補者であります。
3. 当社は、定款の規定に基づき、本議案が承認され、遠藤達也氏が社外取締役監査等委員に就任する場合、当社は、遠藤達也氏との間で就任時に、会社法第423条第1項の責任について、法令が規定する額を限度とする責任限定契約を締結する予定であります。
4. 当社は、取締役全員を被保険者とする役員等賠償責任保険契約を締結しており、被保険者である取締役がその職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任追及にかかる請求を受けることによって生ずることのある損害が補填されます。なお、候補者が取締役就任した場合は、当該保険契約の被保険者となり、任期中に当該保険契約について同内容での更新を予定しております。

監査等委員会意見

監査等委員会は、当社の取締役の選任および監査等委員である取締役を除く取締役の報酬について、報酬・指名諮問委員会での議論の確認を含め、慎重に検討を行いました。

取締役の選任について、指名の手続は適切であり、各候補者は、当該事業年度の業務執行状況および業績、取締役会での発言、これまでの経歴等を評価し、当社の取締役として適任と判断します。また、監査等委員である取締役を除く取締役の報酬について、決定の手続は適正であり、また、報酬体系の考え方、具体的な報酬額の算定方法等から報酬等の内容は妥当であると判断します。

株主配当金に関するご通知

当社の第82期剰余金の配当につきましては定款第34条の規定により、2月13日開催の取締役会におきまして、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせ申し上げます。

記

1	株主配当金	1株につき普通配当 48円
2	支払開始日(効力発生日)	2026年3月5日(木)

■ 配当金の受取りについて

同封の「期末配当金領収証」の記載事項をご高覧のうえ、払渡しの期間2026年3月5日(木)から2026年5月1日(金)までにお近くのゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口でお早めにお受取りください。口座振込をご指定いただきました株主さまには、「配当金振込先ご確認」のご案内を同封いたしましたので入金をご確認くださいませようございます。
なお、株主の皆さまに「配当金計算書」を同封いたしておりますので大切に保管してくださいませようございます。

■ 利益還元方針

当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しており2026年から2028年までの中期経営計画「Kagome Group Plan 2028」期間の株主様への還元は「同期間累計の連結業績を基準に、総還元性向50%」を目指します。配当金は利益成長に応じた配当水準の向上を目指すとともに、減配を行わない累進配当を導入し、安定的な現金配当を方針としています。なお、一過性の要因により、親会社の所有者に帰属する当期利益が大きく変動する場合は、当該影響を除外して総還元性向を算定します。除外した損益は、その理由を含めて開示します。
次期の配当につきましては、新たな基本方針に則り、2025年12月期の普通配当48円から10円増配し、1株当たり58円の配当とさせていただきます。

株主メモ

決定基準	算定日	期日	12月31日
			3月
			12月31日
			その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。
配当金支払株主確定日			12月31日(中間配当制度 なし)
株主名簿管理人(兼特別口座管理機関)			三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先			三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 掲 載			電子公告 https://www.kagome.co.jp/
1単元の株式数			100株
上場証券取引所			東京・名古屋

株主優待制度	半年以上継続して株式を保有していただいた株主さまに保有株数に応じた株主優待品を贈呈 ※割当基準日(6月30日)とその前年の基準日(12月31日)の株主名簿に同じ株主番号で記載されていることが条件です。 発送予定・・・10月下旬発送 ※お届け先は、割当基準日(6月30日)の株主名簿に登録されているご住所になります。 ※転居等によるご住所の変更は、株式を管理されている口座管理機関(証券会社等)にて速やかにお手続きください。
--------	---

会社法改正により、招集ご通知を簡素化しております。
株主総会資料全文は、本招集ご通知でご案内のウェブサイト上でご確認ください。
(書面交付請求株主様へは、ウェブサイト上の株主総会資料を法令及び定款の定めにより書面にして同封しております)

株主総会会場ご案内図

会場 名古屋市港区金城ふ頭二丁目 2 番
ポートメッセなごや 第 2 展示館
電話 (052)398-1771

開催場所が前年と異なります。ご来場の際は、お間違いのないようご注意ください。



● 詳細図



交通のご案内

名古屋臨海高速鉄道あおなみ線
「金城ふ頭駅」下車 徒歩 7 分

- 当日は駐車場のご用意ができませんので、公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。
- 開会間際は受付が大変混雑いたしますので、お早めにご来場ください。(午前 9 時に受付を開始いたします。)
- 会場内展示スペースでは、事業の取り組みについてパネルを展示し、当社社員が株主の皆さまにご説明いたします。また、お試し品(商品)のご提供を予定しています。
- サポートが必要な方は当日スタッフにお声がけください。
- 今後株主総会の運営に大きな変更が生じる場合は、下記ウェブサイト(カゴメ企業情報トップ> IR 情報> IR イベント> 株主総会)においてお知らせいたします。
<https://www.kagome.co.jp/company/ir/events/meeting/>